

指定管理者評価シート			
事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課(211-2536)

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	円山公園	所在地	中央区宮ヶ丘他
開設時期	1957年3月23日	延床面積	691,028㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	円山公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	坂下野球場、自由広場、遊水路、遊戯広場		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(坂下野球場、自由広場)運営(利用料金制度)		
3 評価単位			
	施設数: 1		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 円山公園の管理運営に係る基本方針を次の通り策定した。 ①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 ②関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。 ③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 ④コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸団体・機関との連携・協働を推進し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 ⑤公園と周辺自然林の自然環境に接し、守り育てる活動を通じて、市民の自然を大切に思う心をはぐくむ。 ⑥公園の特徴である、豊かな自然環境を最大限に活かし、公園の魅力・価値の向上に努める。	ホームページや園内掲示板を利用した情報提供により、公平な利用に努めた。 天然記念物である円山原始林を保全するため、特定外来生物のオオハongoソウ、北海道外来種リストに挙げられるゴボウやイワミツバの除去活動がボランティアにより精力的に行われており、成果を上げている。	A B C D 策定した基本方針に基づき、適切に実施していると評価します。特に、各ボランティア(外来種除去、プレーパーク、花壇管理)との協働による公園管理によって、継続的に公園の魅力向上を行っている点が素晴らしいです。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「年齢や障がい、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられることのないよう、全スタッフに対する教育を徹底し、公園の適切な管理運営を行う」という方針を策定し、「接遇・サービス研修」及び「バリアフリー講習」を実施し、平等利用に対する意識の徹底を図る。	方針通りに実施できた。	来園者が快適に利用できるよう配慮されています。インバウンド需要も増加傾向にある中、今後も来園者に寄り添った対応をお願いします。
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 当協会独自のEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。 ▼全スタッフに対してEMS教育を実施した。 ▼一般ごみと資源化ごみの分別を徹底することでごみの減量化に努めた。 ▼剪定枝のチップ化など、植物リサイクルを実施した。	一般ごみと資源化ごみの分別の徹底、植物系廃棄物の再資源化を図ることにより、焼却するごみの減量化に努めた。	貴協会独自のEMSを運用し、全スタッフへの研修を通して適切に取り組んでいると判断します。引き続き、環境に配慮した業務遂行に努めてください。
	▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) ▼年度初めに業務分担、指揮命令系統、緊急時連絡系統等を定めた。 ▼年度計画に基づき、救命講習、接遇講習、安全衛生講習などの職員研修を実施した。	救命講習受講後3年が経過したスタッフは再度受講し、技術維持に努めた。	各種研修の実施により、管理運営組織の確立が図られています。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼花見期間は昨年度と同様、火気の使用禁止（火気使用エリアの設定中止）となった。警備及び清掃を専門業者に委託し、対応にあたった。 ▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認） ▼パークセンター及び倉庫の機械警備 ▼パークセンター自動ドア保守点検 ▼パークセンター定期清掃 ▼パークセンターペレットストーブ保守点検 ▼消防用設備点検 ▼公衆トイレの清掃及び維持管理 ▼遊具等保守点検 ▼一般廃棄物処理、産業廃棄物処理 ▼花見期間中の総合管理（警備及び清掃） ▼花見期間中の仮設トイレの設置 ▼危険木等の処理 ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催） ▼運営協議会の開催状況は下表のとおり <table><tr><th>開催回</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>第1回 3月13日</td><td>・管理業務の実施状況 ・自主事業の実施状況 ・利用者の声（意見・苦情等） ・管理運営上の問題点、改善提案 ・花見に関する報告及び検討事項</td></tr><tr><td colspan="2">＜協議会メンバー＞ 札幌市みどりの推進部みどりの管理課 担当者4名 札幌市公園緑化協会 事業推進課長、円山公園主</td></tr></table> ▽ 財務（資金管理、現金の適正管理） ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。 ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士事務所による外部監査を導入している。 ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。 ▽ 要望・苦情対応 ▼要望・苦情については、札幌市に随時報告し、適切に回答・対応するとともに、対応手続文書を作成して全スタッフが共有し、運営の改善に役立てている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） ▼仕様書に定めのある報告書類は、集計・整理後速やかに札幌市に提出し、適正に保管した。 ▼指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、実施漏れがないか確認した。 ▼札幌市の業務等検査にも適切に対応した。	開催回	協議・報告内容	第1回 3月13日	・管理業務の実施状況 ・自主事業の実施状況 ・利用者の声（意見・苦情等） ・管理運営上の問題点、改善提案 ・花見に関する報告及び検討事項	＜協議会メンバー＞ 札幌市みどりの推進部みどりの管理課 担当者4名 札幌市公園緑化協会 事業推進課長、円山公園主		大きなトラブルの発生もなく、急な対策要請にも迅速に対応することができた。 左記の専門的業務について、第三者に委託し、履行状況の確認・指導を行い、適正な業務遂行を確認した。 主に管理運営上の問題点、改善提案及び花見に関する報告及び検討事項について協議を行い、意思疎通を図ることができた。 不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。 不正経理等はなく問題はない。 いただいた要望・苦情を参考とし、適切な管理運営に努めたい。 適切に報告、対応することができた。	火気の使用禁止という状況の中、昨年度まで同様大きな問題が発生することなく、管理運営が行われたことを評価します。 計画に基づくものの、急遽対応が必要となったもの各々において、適正に、かつ迅速に委託業務の管理が実施されていると判断します。 運営協議会が開催され、管理運営上の問題点等が緑化協会と札幌市双方で共有され、管理運営水準の向上に資する協議が行われています。 資金管理、現金管理共に適正に管理されています。 要望・苦情に対し、適切に対応していたと評価します。引き続き迅速な情報共有をお願いします。 記録・モニタリング・報告・評価が適切に実施されています。
開催回	協議・報告内容							
第1回 3月13日	・管理業務の実施状況 ・自主事業の実施状況 ・利用者の声（意見・苦情等） ・管理運営上の問題点、改善提案 ・花見に関する報告及び検討事項							
＜協議会メンバー＞ 札幌市みどりの推進部みどりの管理課 担当者4名 札幌市公園緑化協会 事業推進課長、円山公園主								

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金1,010円(令和6年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から3名が正規職員となった。 ▼ 円山公園における労働災害発生 0件	指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。 事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	労働関係法令が遵守されているほか、各種講習会や安全大会等を積極的に開催しており、雇用環境維持向上に向けた取り組みが認められます。昨年に引き続き労働災害0件である点が素晴らしいです。

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼利用者の安全確保のため、巡回時に樹木の折れ枝や掛かり枝、スズメバチやカラスの巣の状況などの確認に努めた。 ▼円山公園は大径木、老齢木が多いため、特に枯れ枝、ウロなどの観察を適時実施した。また、要注意樹木の状況変化を常に観察し、危険度を把握するように努めた。 ▼園内の危険木については随時点検調査し、札幌市に報告した。強風時には倒木の危険があるため、注意喚起を行うなど、利用者の安全に配慮した。 ▼仕様書で要求されている損害賠償責任保険に加入した。	高所作業車による危険木等の処理作業を4月と10月実施し、安全管理に努めた。 当公園は円山動物園や北海道神宮へ向かう動線となっており、通行人が多いことから、引き続き、日々の巡回において、安全管理に努めたい。	A B C D 適切に実施していると評価しますが、公園内には大径木の老木が多いことから、引き続き、巡回、観察および報告等の適切な維持管理を行うようにしてください。
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼パークセンターの自動ドア保守点検を実施した。 ▼パークセンターの定期清掃を年3回実施した。 ▼パークセンターのベレットストープ保守点検を使用開始前に実施した。 ▼消防用設備点検を年2回実施した。 ▼公衆トイレの清掃を週3回実施した。 ▼遊具の点検は専門業者により4月と7月の2回実施したほか、月1回有資格者による自主点検を実施した。 ▽ 防災 ▼年度初めに災害時対応訓練を行い、緊急時の対応方法をスタッフ間で確認した。	施設は専門業者による定期的な点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、安全で快適な利用環境を維持することができた。 強風や大雨が予想される場合は、災害に備えて人員体制を整えるなどの対応を行った。	A B C D 各施設の状況に応じて、適切な維持修繕作業が実施されています。公園施設全体的に老朽化が進行していることから、確実な点検および必要に応じた修繕の実施をお願いします。 防災訓練実施により、日頃から防災に対する意識向上が図られています。
(4)事業の計画・実施業務	▽ 自然環境に関する学習機会の提供業務 ▼円山公園探訪ツアー 20名	当公園の歴史や自然などをテーマとしたガイドツアー等を開催し、自然環境への関心が高い方が多く参加し、有意義なものとなった。	A B C D 定期的な自然情報の提供や、ボランティアとの協働など、公園の魅力向上に寄与する事業について、適切に実施していると評価します。
	▽ 円山公園に関する情報収集及び提供業務 ▼パークセンターの来館者数は年間78,592人で、前年度(87,078人)よりも1割程度の減少となった。 ▼パークセンターは観光客の来館も多く、北海道神宮や円山動物園、円山総合運動場、大倉山ジャンプ競技場、藻岩山などの多言語のパンフレットを取り寄せるなど、様々な要望に対応できるよう、準備を行った。 ▼円山登山や野鳥観察に訪れるリピーターも多いため、休憩室には季節の動植物の写真を掲示し、自然情報を提供した。 ▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務 ▼プレーパークを市民団体と協働で開催した。 ▼花壇維持管理などのボランティア活動の場を提供し、活動をサポートした。 ▼北海道自然保護協会によるゴボウ、イワミツバ、オオハンゴンソウなどの外来種除去活動が精力的に実施され、活動をサポートした。 ▽ 園芸に関する相談業務 ▼該当業務なし	ホームページや園内掲示板を用いて、迅速かつ広範囲に情報を提供することができた。 来館者減については、11月のクマ対応に係る公園閉鎖と、12月以降の中国からの訪日客減によるものと考えられる。 ボランティア活動の多様化する要望に対応し、支援することができた。	A B C D ヒグマ出没や国際情勢の変化があった中、円山公園の特性を生かし、登山や野鳥観察などのニーズに応じた自然情報を提供したことについて、評価します。 ボランティア活動への支援を通じて、公園利用者の満足度向上に寄与していると判断します。

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
▼パークセンターにおけるオリジナルグッズやクラフト、関連書籍などの販売 ▼自動販売機の設置 ▼イベント・観察会・講習会等の普及・利用促進事業 ・ちょこっとプレーパークin円山公園 ・かけっこ教室 ・円山公園マルシェ ・青空ヨガ教室 ・ネイチャークラフト講習会 ・円山公園こども夏まつり ・円山公園探訪ツアー ・ナチュラルリースづくり ・スノーマウンテン造成及びチューブそり貸出 ・冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう！ ・まるやまスノーラフティングチューブ	パークセンターにおけるオリジナルグッズやクラフト、関連書籍などの販売は好評だった。クラフト教室、こども夏まつりやマルシェなどの地域密着型イベント、スノーラフティングチューブなどの冬のアクティビティを開催し、好評を得た。	数多くの自主事業を企画・実施しており、公園の魅力向上に寄与していると評価します。大きな道具を運ぶ等の作業が発生する場合は、来園者の安全に配慮して実施するようお願いします。
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 下記の業務については札幌市内の業者に発注した。 ▼パークセンター及び倉庫の機械警備 ▼パークセンター自動ドア保守点検 ▼パークセンター定期清掃 ▼パークセンターペレットストーブ保守点検 ▼消防用設備点検 ▼公衆トイレの清掃及び維持管理 ▼遊具等保守点検 ▼一般廃棄物処理、産業廃棄物処理 ▼花見期間中の総合管理（警備及び清掃） ▼花見期間中の仮設トイレの設置 ▼危険木等の処理 物品の購入等についても、原則、札幌市内の業者に発注した。	札幌市内の企業と連携し、公園の維持管理に努めた。	積極的に市内企業の活用に努めている点を評価します。

3 利用者の満足度			
▽ 利用者アンケートの結果			A B C D
実施方法	パークセンター休憩室内にアンケートボックスを設置したほか、イベント参加者に対してアンケートを実施し、120名の方から回答をいただいた。	前年度に引き続き、総合的な満足度、接客態度に関する満足度ともに、要求水準を上回ったことを評価したい。	利用者満足度調査において、昨年度に引き続き高い満足度を得られており、要望等への迅速かつ適切な対応が行われていると評価します。
結果概要	総合的な満足度は、要求水準70%に対し91.5%となり、大幅に上回った。 接客態度に関する満足度は、要求水準80%に対し86.8%となり、大幅に上回った。 いずれの満足度も札幌市要求水準を上回る高評価となった。		
利用者からの意見・要望とその対応	野生動物に餌付けを行っている方への苦情については、注意看板を設置したり、啓発活動に取り組むなど、対策を実施していることを伝えた。		
4 収支状況			
▽ 収支 (千円)			A B C D
項目	R7年度計画	R7年度決算	差 (決算-計画)
収入	45,272	49,000	3,728
指定管理業務収入	40,322	41,974	1,652
指定管理費	39,663	41,209	1,546
利用料金	659	765	106
その他	0	0	0
自主事業収入	4,950	7,026	2,076
支出	44,808	49,127	4,319
指定管理業務支出	43,098	44,067	969
自主事業支出	1,710	5,060	3,350
収入-支出	464	▲ 127	▲ 591
利益還元	0	0	0
法人税等	464	265	▲ 199
純利益	0	▲ 392	▲ 392
▽ 説明		売店商品の充実化やイベントの開催を増やすなど、自主事業収入の増収に努めた結果、計画よりも増収を達成することができたが、光熱費高騰の影響を受け赤字となった。 引き続き増収を図るとともに経費の削減に努め、効率的な管理運営を行っていききたい。	様々な工夫、取り組みにより、計画以上の増収となった点について評価します。今後も光熱費高騰や物価高等の影響を踏まえた管理運営をお願いします。
▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書」による1,265千円の増額、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金等)」による281千円の増額があり、合計1,546千円の増となった。 ▼ 利用料金収入は、計画より106千円の増となった。 ▼ 自主事業収入は売店収入や委託手数料が好調であり、計画より2,076千円の増となった。 ▼ 指定管理業務支出は、物価や光熱費高騰の影響を受け、計画より969千円の増となった。 ▼ 自主事業支出は、手数料の利益が大きく自主公益事業への繰入が増加のため、計画より3,350千円の増となった。 ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。			

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和7年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
草刈作業は利用状況や草丈の状況等に応じて、計画回数よりも作業回数を増やし、快適な利用環境の維持に努めた。 剪定作業は高所作業車による枯れ枝、折れ枝、掛かり枝等の処理を4月と10月に実施し、発生した剪定枝については順次チップ化処理を進めた。また、冬期間には神宮下園地のサクラの良好な生育を促すため、枯れ枝や不要枝の剪定を実施し、切り口には癒合剤を塗布して保護を行った。 神宮下園地の花壇及びコンテナガーデンはボランティアと協働で維持管理作業を実施し、修景に彩りを添えている。 花見期間特別対応は昨年度同様火気の使用禁止となり、警備員及び清掃員の配置、仮設トイレの設置、ゴミの回収が主な対応内容であった。大きなトラブルはなく、無事に期間を終えることができた。 外来植物除去活動などの実施は、自然環境に関心の高い市民団体や専門家と協働で事業を展開し、継続的かつ専門的な活動を行うことができている。 円山動物園、北海道神宮でのヒグマ出没に係る公園閉鎖に際しては、市と連絡・調整を図りながら閉鎖期間を大きなトラブルなく終了することができた。	草刈作業については、適時、状況把握を進めながら、引き続き快適な利用環境の維持に努めていきたい。 剪定作業については、枯れ枝、折れ枝、掛かり枝等の危険木処理のほか、サクラやイチイの良好な生育のための剪定を今後も計画的に進めていきたい。 作業機械の危険性を十分に理解した上で、機械力の活用を進めるため、適切な管理や技術指導など必要な措置を行い、より効率的な維持管理作業を実施していきたい。 花見期間特別対応については、実施する対策の事前周知を十分に行い、警備員及び清掃員を適切に配置するなど、臨機応変に対応していきたい。 当公園は自然環境への関心が高い市民が多く来園されるため、自然環境保全の活動拠点として、引き続き各団体の活動を支援し、発展させていきたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
日常的な施設の維持管理に加え、花見期間における火気使用禁止の特別対応など、丁寧に行った点を高く評価します。また、11月にはヒグマ出没を受けて公園を全面閉鎖する事態となりましたが、迅速な措置の実施や近隣住民への説明に努めた点を高く評価します。	樹木点検や指定管理者で実施可能な剪定及び伐採作業をこまめに行い、公園を安全に利用できるよう引き続き維持管理を丁寧に行ってください。また、自然環境保全の拠点として、各団体の活動を支援を継続、発展させてください。周辺でのヒグマ出没等、緊急時には迅速にご報告いただくとともに、日常業務では作業中、来園者双方の安全に努めてください。